

No.	事象	コメント(確認内容)	備考
1	全面腐食	異常の有無を確認した結果、異常があった場合はどのように保全として取り組むのかが分からないため、その考え方を説明して下さい。(基本的に技術評価書本文で、「腐食が認められておらず、今後も進展傾向が変化する要因があるとは考えにくいことから、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではないと判断する」が記載されている箇所がほとんどである)。	
2	全面腐食	全面腐食に対して目視点検にて健全性を確認しているとのことであるが、どのように腐食に対して健全性を確認しているのか分からないためその内容を説明して下さい。	
3	全面腐食	潤滑油環境において管理している潤滑油自体の健全性(期限、使用環境等の適切性)について説明して下さい。	
4	全面腐食	スタビライザ、スタビライザブラケット、支持スカートの特検方式、検査周期、検査方法が一となっておりますが、実施しないのか、点検に関する考え方を示して下さい。	
5	摩耗	連続して摺動状態になる部位とそうでない部位との健全性方法の記載が同じで、どのように保全するのか分からないため、どう違うか判断できないためその考え方について示して下さい。	
6	疲労割れ	疲労割れ事象についてフレッティング疲労の保全内容が記載されていませんが、考慮しなくていい理由は何か示して下さい。	
7	熱疲労割れ	再循環ノズル(クラッド部?)における熱疲労に対する健全性について示して下さい。	
8	高サイクル疲労	原子炉建物天井クレーンモータの特検方式、検査周期、検査方法が一となっておりますが、実施しないのか、点検に関する考え方を示して下さい。	
9	SCC	炉内構造物の粒界応力腐食割れに対する検査方法がVT-3となっておりますが、検査として妥当かどうか、その考え方を示して下さい。	
10	SCC	JEAC4205の記載があり、先行プラントのままです(既に同規格は廃止されています)。現在もそれを使用し、点検計画を立てているのか、その考え方について示して下さい。	
11	SCC	「SCCの3要素の・・腐食環境を改善」ということで主蒸気系配管、原子炉再循環配管を耐震評価から除外していますが、その内容はどのようにしているのか示して下さい。	
12	SCC	エキスパンションジョイント、翼及び車軸、スタビライザ等では検査方式、検査周期は規定されていないのでしょうか。点検に関する考え方を示して下さい。	
13	熱時効	熱時効は、整理学上、6事象として整理するのではないのでしょうか。6事象の中に入れず、ここに記載している意味合いは何かを説明して下さい。	
14	亀裂	クラッド下層部の亀裂に対して保全内容が記載されていませんが、考慮しなくていい理由は何かを示して下さい。	
15	異物付着	異物付着の健全性を確認する上において、浸透探傷試験を実施していますがその理由を説明して下さい。	
16	クリープ	クリープに対して、目視検査またはPTにより健全性を確認していますが、クリープ事象に対して、可能なのでしょうか。健全性に関する考え方を説明して下さい。	
17	照射スウェリング、照射クリープ	水中カメラによる目視試験で健全性を確認していますが、事象と合わせてそれで問題無いのでしょうか。健全性の考え方について示して下さい。	
18	p14	①分解点検②の後ろの②は何を意味しているのでしょうか。他にも多くの記載があります。また、他にも①分解点検①-1の表現もありますが、分解点検に関する考え方について説明して下さい。	
19	▲事象別紙2-2	亜鉛メッキ処理、塗装がされているので腐食が発生する可能性は小さいとしていますが、亜鉛メッキ、塗装の健全性を日常点検で担保していることから△事象となるのではないのでしょうか。その点の考え方をご説明下さい。	
20	▲事象別紙2-2	アンカーボルトの腐食でコンクリートの中酸化深さを評価し、問題ないとしていますが、表面近傍で中性化する部位の対応はどのようにしているのか示して下さい。	
21	▲事象別紙2-2	電気ペネトレーションのスリーブの進展傾向が極めて小さいと判断した理由が本冊の理由と記載が異なります。本冊では「塗装により腐食を防止しているため、腐食が発生する可能性は小さい。」と記載されています。これはどういう意味合いでしょうか、ご説明下さい。	
22	▲事象別紙2-2	ケーブルトレイ、電線管の進展傾向が極めて小さいと判断した理由が記載されていますが、本冊では電線(内面及びコンクリート埋設部)の腐食に対する理由となっておりますが、これはどういう意味合いか、ご説明下さい。	
23	▲事象別紙2-4	クリープの健全性を研究報告による担保していますが、研究報告の内容について示して下さい。	